

実施概要



- **日時** 令和4年11月23日（水・祝） 13時から15時20分まで
- **場所** 東京ウィメンズプラザ
- **発表者** 都内在住又は在学の中学生・高校生 30名
- **研究活動** 東京学芸大生のサポートのもと、約3ヶ月半、オンラインを活用して活動
- **発表テーマ**
 - ① 思春期の健康や性について相談したいとき
 - ② 性別による無意識の思い込み
 - ③ デジタルを活用した社会
 - ④ 子供の成長に関わる仕事
 - ⑤ 放課後改造計画
- **コメンテーター**
 - ・ 犬山 紙子 氏
（イラストエッセイスト）
 - ・ 渡辺 由美子 氏
（認定NPO法人キッズドア理事長）

今後の予定

- 1月～ 各グループの提案を整理
- 3月～ 「東京都子供・子育て会議」にて、委員から意見やコメントを聴取
- 4月～ 子供たちへフィードバック



グループ発表概要

○グループ1（思春期の健康や性について相談したいとき）

- ・ 性に対してオープンな社会の構築をテーマに、性教育と相談事業の2つの観点から研究
- ・ 世界と比較し活発とは言えない性教育を改善するため、男女別クラスの編成やワークショップの開催を提案
- ・ 性に対する悩みを話しやすくする環境作りのため、マッチング相談とイベント相談を提案

○グループ2（性別による無意識の思い込み）

- ・ LGBTQ+をカミングアウトしにくい現状と女性の社会進出の課題を研究
- ・ 一番近い存在である保護者世代にLGBTQ+を知ってもらうため、Tシャツ広告やSNSの活用を提案
- ・ 仕事と育児の両立のため、高齢者を活用した、様々な年代の人が交流できる3世代型保育園を提案

○グループ3（デジタルを活用した社会）

- ・ 教育活動におけるデジタル活用をテーマに、学習内容の提案とインクルーシブ教育という視点から研究
- ・ 各教科や体験活動での活用、デジタル教育の推進のため生徒によるGIGA推進委員会設置などを提案
- ・ 障害のある生徒、不登校の生徒、外国にルーツのある生徒などの教育にデジタルの活用を提案

○グループ4（子供の成長に関わる仕事）

- ・ 教員は忙しいというイメージに対し、子供と関わる時間や給与・休暇の利点など魅力ある職業として提示
- ・ 生徒が一人で悩みを抱えないよう、カウンセリング室を通いやすくすることを提案
- ・ 保育士について正しく理解するため、中高生が企画する中高生のための保育体験型プロジェクトを提案

○グループ5（放課後改造計画）

- ・ 中高生が放課後を過ごす、家と学校以外の第三の場所として、児童館の活用方法を研究
- ・ 児童館を訪問・インタビューし、中高生向けのイベントや広報が課題として、情報発信の改善を提案
- ・ 中高生が児童館を継続的に利用したり、人間関係を広げたりできる取組を提案